

ふるさと教育



5・31
(火)

5月31日(火)、7校時南島原市環境水道部環境課の酒井さんに空き家増に伴う害虫・害獣班尺と雑草繁茂などの環境問題について、教育委員会世界遺産推進室の岩永さんからは原城跡の観光資源としての活用について講話をいただきました。

・地域の環境美化



・世界遺産「原城跡」の観光資源としての活用



生徒の感想～抜粋～

日本の世界遺産は25件あり、その中の2つが長崎にあるのは、とても誇らしいことだと思いましたが、人口が少ない上に市の財源が厳しく、施設がないのが過疎化が要因となっていました。この町が将来どうあるべきか、私たちが考えなければならないと思います。

原城跡には大きな歴史があるので、多くの人にもっと知ってもらいたいと思いました。現在はそこに城はなくて普通の土地ですが、歴史の背景をよく知りもう一度見てみると、感じ方が変わるんだろうなと思いました。

地域の環境美化は高齢者や出生率など人口にも影響があることを知った。南島原市は若年層が都会に出たりして出生率も下がり、高齢化率が高くなったり、空き家が増えることで生活環境が悪化するという悪循環が起きているということが分かった。

日本にある世界遺産25件のうちの1つが私たちの住んでいる南島原にあることを改めて知り、誇らしく思った。同時に、登録されたのに目立った動きがないとも思った。世界中でここにしかない遺産なのでもっとその魅力を伝えたいと思った。

地域の環境美化を推進するための仕掛け

- 週に1～2回見回りをする。
- 海岸や雑草が生えているところを清掃する。
- 空き家を無くす。
- 環境美化が行き届かなくなった未来の姿を映像として紹介する。

原城跡来訪者数と南島原の魅力発信のために

- 原城を紹介する施設を作り、その地理的な性質や歴史、景観などを学べるようにする。
- 南島原の特産品の販売所を作って来場者の方に販売する。
- 看板や駐車場を整備して訪れやすくする。

今回で南島原市の職員さんによる講義は終了します。たくさんの南島原市の課題や取り組みを知ることができました。ありがとうございました。